

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 「新任職員ガイド」

- 4.5 **2** トピックス 関プロ新潟大会の開催準備進む
- 3** 視点 「公民館に寄せる思い」 妙高市立妙高小学校長・望月 正樹
- 3** ひろば 「変わり行く中で」 上越市社会教育委員・公民館運営審議会委員・土屋 美枝
- 6** 実践記録シリーズ 「社会全体で子どもをはぐむ運動」フォーラム 新潟県教育委員会・新潟県地域家庭教育推進協議会
- 7** サークル交流 「バランス変化を楽しく」(十日町市) / 「楽しくお菓子を作っています。」(柏崎市)
- 7** 素顔拝見 野崎アユミさん(阿賀野市) / 小柳 俊樹さん(加茂市)
- 8** お元気ですか 田上町・神主 忠雄さん
- 8** ネットワーク 惠贈資料紹介



まちなか文化祭 (三条市)

表紙解説

地域の小学校も参加し、中央公民館や図書館など文教エリアの公共施設4会場で、学びと文化を発信しました。

関ブ口新潟大会の開催準備進む

関東甲信越静公民館研究大会の開催まで4ヶ月になりました。県公民館連合会および大会実行委員会は2年間にわたり開催準備を進めてきましたが、いよいよ本番間近になり開催に向けた準備が佳境に入りました。

4月26日(金)には県外都県に開催案内と申込書が送付され、同時に県内各市町村にも配送されました。参加申込は6月28日(金)まで行われます。

4月23日(火)にはメイン会場の南魚沼市民会館に、総務、宿泊、分科会、広報のそれぞれの担当者と事務局との実務者合同会議を開催し、懸案事項の確認と作業工程の調整を行いました。

大会紀要は編集内容が決まり、8月の完成に向けて作業中です。

表紙は新潟と魚沼らしさを出すという方針から

- ①南魚沼市の「雲洞庵」
- ②南魚沼市の「浦佐裸押し合い大祭」
- ③とき

①②③は大会紀要の表紙に、大会終了後に発行する大会記録集は湯沢町の冬の風景を掲

載することになり写真を選定中です。

「浦佐裸押しあい大祭」1



「雲洞庵参道」1



「湯沢高原ロープウェイ」



「雲洞庵」2



「浦佐裸押しあい大祭」2



このような写真を紀要・記録集の表紙絵に掲載する案が出ています。会員、読者の皆さんで、他に適当な写真があったらご紹介ください。
*写真には著作権がありますからそれぞれの使用許可が必要になります。

〈照会先〉

長岡市中央公民館

広報担当・電話

0258-3210437

*

まもなく、県内市町村の役員名簿(運営スタッフ)の選出依頼が総務部から送付されます。また、人口1万人に1〜2人の動員割当もありま

す。運営スタッフの人数は動員割当の数に含むことが確認されています。各市町村では、参加経費のもとに計画的な参加をお願いします。(田原)

「新潟県公民館月報」 毎月15日発行
いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部150円 年間1,800円(いずれも送料含)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301 中野プラザ107 県公民館連合会事務局 TEL・FAX025-266-7711

視点

公民館に寄せる思い

妙高市立妙高小学校長 望月 正樹



市町村が設置する公民館のほかに、地域の住民がお金を出し合って、集落ごとに公民館に似た機能を持つ施設を設置し運営している場合があります。今更申し上げるまでもないのですが、所謂「自治公民館」です。私の生まれ育ったところでは、そのような「自治公民館」的な組織がかなりありました。

また、しばらく前まで「公民館の分館」組織ができていて、地域の中に一定の存在感を示していた「分館」もありました。小学校の運動会は公民館分館が指揮をとり、学校側がその一員として事業を成功させていた、という楽しい

思い出もあります。いずれにしろ、「公民館」という名前の付いた建物やそこで働いている方々には、子どもながらに親近感がありました。また、そこに出入りをして、地域住民の相談事をするのが当たり前という場所でもありました。

今、「公民館」をめぐる様々な動きがありますが、忘れてはならないのが、地域の課題解決に向けた地域における「公共」を形成するための拠点であってほしいということだと思います。「自治公民館」も含め、私の大好きな「公民館」がいつまでも残るように願います。

H O T N E W S

掲 示 板

平成25年度新潟県公民館連合会 第1回理事会、評議員会 (関プロ実行委員会) 開催

本年度の活動基本方針や事業計画等を確認するための表記会議が下記により開催されます。開会に当たり、新潟県生涯学習推進課長様からご挨拶とご指導をいただきます。

記

- 1 開催日時 平成25年5月16日(木)
理事会 9:30~
評議員会10:30~
- 2 会 場 南魚沼市民会館
- 3 会議の主な内容 ①役員改選
②活動基本方針
③事業計画及び予算
④関プロ大会の運営



前年度第1回評議員会 (新潟市中央公民館)

「変わり行く中で」

ひろば

上越市社会教育委員・公民館運営審議会委員 土屋 美枝

社会教育委員になって早や七年、行動的な委員を目指してはいるが、思う様にはいかない現状に、公運審の兼務は更に厳しくのしかる。

か。一方で私達の団も高齢化で、団を支えてくれる若い人の参加を望むが、公民館活動に興味を持ってくれる人が少ないと思う。

公民館の再配置の検討が進められるが、公民館は市民のニーズに答えられるものであってほしい。

私が趣味で参加している、「コーラスおおがた」は、公民館活動からスタートし、二年目に自主サークルとなり、以来28年間、活動を続けている。団員の中にまもなく、90才を迎える方が二人おられ、若い頃から歌う事が大好きなお二人は、暗譜も誰よりも早く、「コーラスは生き甲斐」と口を揃える。まさにこれが、生涯学習ではないだろう

もう一つ、読み聞かせサークルに参加しているが、メンバーの努力で、地区公民館でのお話し会に集まる子供が増えた。子供を動かすには、大人の意識を変える事。公民館で様々な体験をした子供達が、次の時代の公民館を育ててくれる事に期待したい。



ガイド

役割を考えていくうえで、このことが大きなテーマとなっていきます。

なぜなら、それぞれの違いを明らかにしていくことが、公民館の進むべき方向性や社会教育の在り方を考えることになるからです。「社会の変化に対応した公民館や社会教育の在り方」は、各種研修会等においても常に設定されるテーマです。

少し考えてみましょう。例えば、個人の要望や趣味に応える講座の場合、ただ単に技術や教養を習うだけなら、自己実現や個人の満足を追求する個人学習です。そこから交流や仲間づくりへと進展し、その成果が社会に還元され、よりよい地域社会の実現をめざそうと行動に移す、この過程がまさに社会教育そのものです。主体的な学びと活動へと、意欲と行動を後押ししていくことが私たちの役目です。

また、環境問題であるポイ捨てを考えた場合、他の部局では、ポイ捨てをしないように規制や環境意識の普及と呼び掛けを考えます。しかし社会教育は、ポイ捨てをしないようにするためにはどうするか、それを考えて実践する人材やグループの育成を考えます。つまり地域課題を解決しようとする人づくりの視点が入るのです。その社会教育の活動拠点となるのが公民館です。

生涯学習は、学校教育をも含むあらゆる学習であると定義されていますが、実際には自分自身のための自己実現や個人の満足を追求する傾向が強いと思います。公民館や社会教育活動には、より良い地域社会づくりをめざそうと取り組んできた長い歴史があり、現在も地域や社会の課題解決に取り組んでいくことが要請されています。

説明：昨年5月に市民の手づくりで開催された「まちづくりシンポジウム」です。今年5月26日、今日的課題である「若者支援を考えよう」をテーマに開催されます。社会教育では学習テーマを探っていくことも重要な学習です。



社会教育の台頭を

生涯学習は、平成2年の「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」を契機に、全国的に行政施策として推進されるようになったといわれています。

多くの県や市町村では、市町村長が推進本部長となり、総合行政として「生涯学習のまちづくり」が進められるようになりました。これまでの社会教育行政が担ってきた多くの分野が他の部局へ移

管され、各部局でも専門的な学習機会の提供をするようになっていったのです。

また、今まで社会教育課だった名称は「生涯学習（推進）課」に変わって今日に至っています。社会教育課が残っているのは、上・中・下越教育事務所と聖籠町さん、阿賀町さん、そして復活した佐渡市さんだけではないでしょうか。

生涯学習の推進役として、社会教育や公民館が果たしてきたものは大きいと思いますが、同時に社会教育という言葉や固有の存在意義も曖昧にしているような気がします。個人的には、今こそ社会教育の台頭を願うところです。

広がる社会教育

私たちが抱える地域の問題は単独で存在するのではなく、複雑に絡み合っています。公民館や社会教育は、他部局と競合しない分野や領域を担うことも重要ではありますが、他部局においても課題解決への社会教育活動が必須となっていることから、管轄や分野・領域をこえて、社会教育活動につながるあらゆる関係者に対して、人材育成の面で支援していかなくてはなりません。

つまり、言い方を変えるならば、もはや公民館だけではなく、それぞれの部局においても「住民に接する職員は、担当分野でのエキスパートであると同時に、優れた社会教育者でなければならぬ！」ということなのです。

地域資源とは人材のことです。管轄や分野・領域をこえての協力・協働・参画は、なんといっても顔でつながることであり、現場での人と人とのつながりが一番です。

社会教育者として

さて、冒頭に記した『泣き泣き来て、泣き泣き帰る』の話なのですが…

東京本社に勤める会社員が、新潟支店に異動を命じられました。「雪が降る寒い地で、いつも雲空でどんよりとした新潟(日照時間全国42位)に行きたくない」と思いながら、泣き泣き新潟に赴任するのです。ところがいざ新潟に住んでみると、「素朴な人が多く、人情味があって温かい。新潟は米や酒はもちろん食べ物も美味しいし、越後美人に囲まれて…」と新潟の良さを実感していきます。そんなある日、東京本社の勤務を命ずるという一枚の辞令が…。ガン！「こんなに素晴らしい新潟を離れたくない」といながら本社に『泣き泣き帰る』のだそうです。

私たちの異動も宿命です。公民館の目的や理念に価値を見出しながら、私たちの活動が社会のためになっていることを自覚し、自分の成長を実感できた喜びを胸に、いつか社会教育者として『泣き泣き帰ろう』ではありませんか。

特集



阿賀野市中央公民館
館長 見原 健司

ようこそ公民館へ

『泣き泣き来て、泣き泣き帰る』という言葉聞いたことがあるでしょうか。公民館への異動が決まり、夜や土・日の仕事も盛りだくさんで人前で話すことも多いし…ああ～と思って『泣き泣き来た』という心境ではありませんか？

でも大丈夫です。初めは夜間の会議、土日の事業、人前での話もおっくうなのですが、出て行くにつれて不思議なことに慣れるんです。

これからたくさんの人たちとの出会いがあるはず。会合や事業に行く時には「今日はどうな人と知り合いになれるだろう」と胸に期待を膨らませて行きましょう。何気ない集まりでもきっと新しい発見があるはず。

その出会いを、より良いものにするための秘訣が『先手必笑』です。

学ぶ姿勢に磨きを

どの部署に異動しても、短期間で職務に精通することは難しいことです。公民館の仕事は机の上で学ぶことよりも、住民の皆さんとの出会いや経験によって学んでいくことが特に重要なので、様々な研修参加を心がけながら実践を積んでいくことになります。

来館する人たちや団体との話し合いの中から地域の課題や認識を共有し、住民の学習相談に感情豊かに粘り強く対応できる姿勢と、アドバイスできるスキルを磨いていきましょう。

そして他市町村の公民館関係職員と仲良くし、情報を常に広げていく姿勢も忘れてはいけません。毎年開催される公民館連合会や協議会、県などが主催する研修会等への参加は必須です。

貪欲に「見る」「聴く」「こだわる」「チャレンジする」の精神です。

住民との信頼づくり

公民館は、住民の自由な活動や交流を支援する施設であり、住民との信頼関係を大切にしています。そこでチェックです。皆さんの周りにこんな行政マンいませんか。

- 広報紙に掲載された記事は全ての人が読んでいると思込んでいる。
- すぐに「予算がない…」とか「それは私の担当ではない」「この仕事だけやっているのではない」と言う。
- 住民の力を誤解している。

新任職員

- 規則や法律ばかりを盾にして話をする。
 - 補助金や支援をあたかも自分が施したように言う。
 - 住民が要望に来ることは悪いことだと思っている。
- ここに揚げたようなことが、市民と協働できない行政マンだそうです。

私たちには、人が集い、つながり、一緒に活動しながら、地域づくりや人づくりへと後押しすることが求められています。そのためには、意識の転換を図り、地域づくりや人づくりへの実務知識を蓄えながら、住民意識やグループ・サークルの熟度に応じて、段階的に変化をもたせた情報の提供と積極的な相談が欠かせません。

地域づくりや人づくりの根本を言うならば、それは地域に住む人々の、「やる気づくり」のいかんにかかっており、ときには演出さえ必要とすることもあります。

公民館活動は住民が主役

むかし若い頃、公民館勤務をしていたことがあるのですが、ご多分にもれず反省すべき失敗経験をたくさんしてきました。その一つが、公民館活動は住民が主役という原点を知らないで突っ走っていたことです。

当時、青年教育を担当していた私は、地域の青年団や青年サークルと地域を盛り上げようと奮闘していました。「俺たちの町は劇場だ！」とばかりに青年の集いやイベントを行い、それは張りのある楽しい毎日でした。近隣市町村の青年活動にも顔や口も出し、1985年の国際青年年を期に発足した県青少年団体連絡協議会の事務局長を務め、まさに公私混同するほど青年活動にはまっていたのです。

そんな中、公民館職員研修等を積み重ねていくうちに、果たして自分がやっている活動はこれでもいいのか？と思うようになります。活動は苦勞が多いほど達成感や喜びも大きく、仲間と一緒にだと喜びも倍増です。しかし、その一番良い瞬間を独り占めしていたのは自分だと気づいたのです。感動は人生を大きくします。本来は地域の青年たちが主役となって泣き笑いで得るべき感動体験を、公民館職員である私が先頭に立ってやっていたのです。結婚式で新郎・新婦より司会者の方が目立っているようなもので、これでは誰が主役なのか分かりません。

公民館活動の主体は住民であって職員ではありません。人と人をつなぐコーディネーターであり、考えを引き出すファシリテーターとしての役割を担うのが職員です。

ややこしいぞ公民館・社会教育・生涯学習

さて、新任職員でなくとも、公民館、社会教育、生涯学習それぞれの違いや理念を理解し、説明することは難しいものがあります。しかし公民館の

実践記録 シリーズ 182

「社会全体で子どもをはぐくむ運動」フォーラム

新潟県教育委員会・新潟県地域家庭教育推進協議会

学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たし、連携して子どもたちを健やかに育てていくことの大切さをみんなで考え、地域の大人一人一人が当事者として共に高め合い、実践の輪を広げ、今後のより充実した活動へと発展させていくための方策を探る「社会全体で子どもをはぐくむ運動」フォーラムを開催しました。

- 日 時：平成24年11月30日(金)10：00～15：00
- 会 場：聖籠町市民会館

○講演会「子どもをはぐくむ地域の力」

県内外の取組を紹介していただきながら、学校・家庭・地域の連携の大切さや子どもを育てる地域の力についてわかりやすく御講演いただきました。



講師：新潟大学大学院
現代社会文化研究科
准教授 雲尾 周様

参加者
総勢279名



○活動紹介・情報交換

県内各地で行われている学校支援や放課後子ども教室などの取組をパネルで紹介しました。

子ども会の方々から、子どもたちが楽しめる工作の紹介や、長年の活動経験に基づく子どもたちへの思いを聞かせていただきました。



見附市が実施した
防災キャンプの
様子も紹介

「へえ～新聞紙と
ザルできて
いるんですね！」



○第1分科会

★「はじめの一步」

活動が続けられているコーディネーターの方から活動を始めた「きっかけ」や活動に取り組む「思い」について語っていただきました。



コーディネーターの郷さん、水澤さん、皆川さん

○第2分科会

★「活動を活性化させるために」

アドバイザー：雲尾 周様

グループごとに課題を出し合い、その解決策を発表しました。雲尾先生からのアドバイスもあり、活動の指針を得る貴重な機会となりました。



課題を出し合っています



グループごとに発表



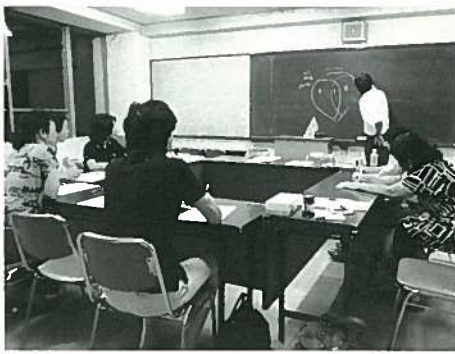
明日からの勇気に変わる
雲尾先生の深イお話

○フォーラムを終えて

フォーラムでは、たくさんの人が子どもを育てるために活動していることを実感できました。関係者が一堂に会し情報交換をすることで、顔の見えるつながりができ、社会全体で子どもをはぐくむネットワークが一層広がっていくことを期待しております。

バランス変化を楽しく

フォルトネット



十日町市中央公民館を会場に、ひきこもり等で悩んでいるご家族と「お茶にしようじゃねえ会」を開催している、昨年誕生した小さなサークルです。昨年は、講師を招いて「自己肯定感の育て方」「コミュニケーションの取り方」などを、ワークショップ形式で参加者自らが、周りとの関係性の変化(バランス)を体験しました。「他人の意見や考えを知り、同じ体験を持つ人との出会い、悩みの分かち合い、励まし合い」を、参加者と共有しています。また、サークルを

通じて知り合った人達で、様々なイベントに参加して楽しんでいきます。

会の名称はラテン語で幸運を意味する(フォルトウナ)から、その繋がり(ネットワーク)で(フォルトネット)です。

十日町市・フォルトネット
関口美智江 記



楽しくお菓子を

作っています。

柏崎粉と卵の会

昭和60年から始まって今年で28年になります。幼稚園の仲間が集まってお菓子を楽しみながら作るのが始まりでした。

月1回公民館の調理室での活動ですが、会員が増え3つ

のクラスに分かれてそれぞれのレベルに合わせたお菓子を作り楽しんでいきます。

10年目には有志18人で念願だったウイーンヘザツハトルテを食べに行きましたし、パリでのお菓子食べ歩きも楽しい思い出です。

会員の中には地域のお菓子作りで活躍されている方や、娘のウエディングケーキを作られた方や、今度は孫のためにと再び入って来られる方もいます。これからも生涯を通じての楽しいお菓子教室であり続けたいと思います。



柏崎市・柏崎粉と卵の会
高橋みどり 記

4月から加茂市公民館長に就任された小柳俊樹さんをご紹介します。

これまで、水道局、建設課、農林課など市民の生活基盤を担う重要な事業課を歴任されてこられました。

教育関係部署はまったく初めてで「未知の世界」と就任当初は不安がっておられました。持ち前のナイススマイルと優しい語り口



加茂市公民館
館長 小柳 俊樹さん

で、この一ヶ月の間に公民館利用者や講座受講者を中心に〈館長ファン〉が着々と増加しています。

これから始まる当公民館の大事業である、市民大学講座、シニア(高齢者)教室の事務を率先して担当され、テキパキとこなしていく姿は、まさに、「頼もしい!」館長であります。

(加茂市公民館 小柳 豪志 記)

公民館勤務になって3年目、夢は阿賀野市を幸せなまちにすること!そのために積極的に講座を開講し、子ども達を応援する大人を応援している野崎さんは、公民館職員の中ではお姉さんのような存在です(私よりずっと年下ですが…)。

そして、いろいろな資格を取り自分磨きを怠らない素敵な人ですので、住民の方々(年配者が多いかな?)に大人気です。



阿賀野市京ヶ瀬公民館
主任 野崎アユミさん

結婚前はとっても多趣味だったようですが、今は子育てに奮闘中…。そんな中でも継続している趣味はグルメツアーで、本人はメタボが気になりだしているようですが、いろいろと美味しいところを知っているので情報を得たい方は、連絡を取ってみてください。

(阿賀野市安田公民館 田中 恵子 記)

素顔
拝見

恵贈資料紹介

「島根県公民館機関誌「がんばってます」No.24」

島根県は公民館活動の実践事例を全国に発信しています。

このたび、平成24年度の事業等のまとめとして

①「地域力」醸成プログラムのモデル公民館を映像化したDVD

②実証プログラム事業報告書

③活動事例集第24号「がんばっています」

の3点を刊行しました。冊子はいずれも写真を多く使用して事

業の説明をわかりやすく編集しています。



発行

島根県教育委員会
島根県公民館連絡協議会

(問い合わせ)

島根県公民館連絡協議会

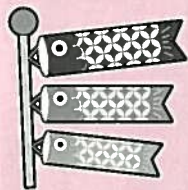
〒690-8502

松江市殿町1番地

教育庁社会教育課内

電話

0852-222-5429



お元気ですか

神主 忠雄 (田上町公民館)



三年間でしが社会教育指導員として奉職し退職して二年になります。

幾つかの事業の中で印象に残った事があります。それは、早朝ハイキングとトレッキングでした。

早朝ハイキングでおこなったラジオ体操と、護摩堂山稜線の山歩きや中部・北陸自然歩道のトレッキング等で自然に触れ、歴史を探索する事ができました。スタッフや参加された皆さん有難うございました。

私はこの時から毎日ラジオ体操とウォーキングをしています。又趣味として登山や旅行に出かけたいと思います。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

Net work

知って得する「子育ての基本」講座

県生涯学習推進センターと県地域家庭教育推進協議会では「家庭教育支援者養成研修会」を開催します。

- 1 開催日時 下越地区 5/29、6/12、6/25、7/10
上・中越地区 5/31、6/13、6/27、7/11
いずれも10時～16時
- 2 会場 新潟会場 県立生涯学習推進センター
新潟市中央区女池南3-1-2
南魚沼会場 南魚沼市ふれあい支援センター
南魚沼市坂戸 399-1

申し込み、問い合わせ

県立生涯学習推進センター 担当：阿久津
TEL 025-284-6110

土砂災害防止月間

～みんなで防ごう土砂災害～

6月は「土砂災害防止月間」です。土砂災害から人命・財産を守るため、土砂災害に関する防災知識の普及、警戒避難体制の整備を推進するための取組みに協力しています。

新潟県治水砂防協会

会長 (出雲崎町長) 小林 則 幸

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

事

務局長のつばやき

県内の桜は散って葉桜。代わってチューリップなど春から初夏にかけての花が楽しみな季節になりました。

皆さん、怒濤の4月が終わってお疲れ気味ではないでしょ

うか。特に新しい職場で仕事をしている人はお疲れモード。しかし、5月からはいよいよ事業が始まります。連休でリフレッシュしてエンジン全開でがんばりましょう。(田原)